



みちの郷土資料保存会  
高倉照夫さん

木屋瀬まちなみ案内の会  
岩村秀明さん

長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会  
木屋瀬宿場まつり実行委員会

山田靖さん

# ゆっくり歩き おもてなしガイド

## 木屋瀬編

### 長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会

北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館は、「みちの郷土資料館」と「こやのせ座」から構成される文化施設です。木屋瀬で活動する8つの団体が長崎街道木屋瀬宿記念館運営協議会を組織し、宿場町木屋瀬の歴史を受け継ぎ、文化を守り伝える取り組みを続けています。

今日は、木屋瀬のまちづくりに尽力されている皆さんに、江戸時代の白壁の家並みが残る街道を歩きながら、歴史や史料の保存活用、そして地域で守り伝えられてきた文化についてお聞きしました。

— 木屋瀬の案内をお願いします

(岩村さん) ここ

西構口から、長崎から江戸への入口であり、宿駅として栄えた木屋瀬の400年前にタイムスリップしましょう！



こちらに建つのは、追分道標

(おいわけどうひょう)。 「従是右赤間道左飯塚道」とは、右は赤間道、左は飯塚道(長崎街道)と示しています。実はここにあるのはレプリカで、本物は資料館に展示しています。

木屋瀬は、福岡県第二の大河、遠賀川のほとりに位置しています。この樹齢400年になる銀杏の木は船着き場の目印として、人々の往来を見守ってきました。地名の由来は、川の浅瀬に材木を仮置きする小屋があったことから「小屋瀬」と呼ばれたと平安時代の書物に記されています。



こちらの「旧高崎家住宅」は、作家・伊馬春部(いまはるべ)の生家です。1835(天保6)年の建築で、宿場の歴史を今に伝える貴重な建築物です。

※「旧高崎家住宅」からの詳しい案内は動画でお楽しみください。

岩村さんの案内で「みちの郷土資料館」へやってきました。



(高倉さん) 私たちボランティアグループが館内をご案内しています。

この木屋瀬宿の模型は江戸時代に描かれた絵図を元に再現されています。長崎街道は約230km、

昔の人は7泊8日をかけて歩いたと言われています。なかでも木屋瀬は昔の宿場町の面影が今もよく残っていることで知られています。

資料館は今年26年目。江戸時代から明治大正昭和にかけて、木屋瀬の歴史を伝える豊富な資料を展示しています。昔の道具の体験コーナーには、子どもが実際に乗ることのできる籠など、他館には見られない展示にも工夫を凝らしています。木屋瀬の歴史を紹介する映像資料も定期的にも上映され、地域の歩みを今に伝える大切な役割を果たしています。

——木屋瀬の見どころについて教えてください

(山田さん) 私はふだん、木屋瀬の歴史と文化をより多くの方知っていただけのような活動しています。「こやのせ座」は、江戸時代の芝居小屋をイメージしてつくられた施設です。落語会や演奏会など、さまざまな催しの場として足を運んでいただき、また活用していただければと思っています。

さらに、毎年11月上旬に開かれる宿場祭りでは、筑前各地の伝承盆踊りが集い、にぎわいを見せます。

——若い世代に向けてメッセージを

(山田さん) 木屋瀬は春夏秋冬、一年を通して、さまざまな行事が行われています。それらを次の世代へしっかりと受け継ぐため、できる限り昔と変わらない形で続いています。今を丁寧に積み重ねていけば、必ず未来へとつながっていくと信じています。青年会など若い力も頼もしく育っていますので、皆さんのお力をお借りしながら、これからも木屋瀬を盛り上げていきたいと思っています。

## PICK UP

### 多留歌はいろ木屋瀬



木屋瀬の風物や伝統を描いた歌留多には、地域の魅力が満載。毎年1月には歌留多大会が開かれ、土地の歴史と文化を次代へと伝える役割を担っています。



本日はご案内いただき、ありがとうございました。

歴史と文化が今も息づく木屋瀬の取り組みの豊かさを改めて感じました。

## 木屋瀬のミニ情報

12月には「子供恵比寿頭(こどもえびすかしら)」と呼ばれる、江戸時代から続く伝統行事が行われています。武士の元服に倣って大人の仲間入りをする儀式で、地域全体で子どもたちの成長を祝う行事となっています。山田さんの子ども時代には、写真に収まりきれないほど多くの子どもが参加していたそうですが、子どもの数が減った現在も、地域の人々とともにその伝統を守り、変わらず大切に執り行われています。

北九州風景街道(長崎街道)推進協議会は団体・機関の官民協働で活動を行っています。



木屋瀬のガイドはこちらからご覧いただけます

